

三井不動産株式会社 ●東京都中央区 アステラス製薬株式会社 ●東京都中央区

住宅・設計・施工

事務所・複合施設

教育・スポーツ施設

商業施設・飲食店舗

医療・福祉施設

宿泊・温泉施設

産業

贈呈理由

日本橋アステラス三井ビルディング新設における蓄熱式空調システムの導入



日本橋アステラス三井ビルディング



氷蓄熱槽



スーパーフレックスモジュールチラー・氷蓄熱槽

エネルギー使用状況などを把握、より省エネ運転を目指す

また、専有部照明のLED化（三井不動産初）により、従来の高効率照明器具に比べて消費電力は33%削減されており、それとともに、専有部に明るさセンサーを設置して照度監視を行い、昼光利用によってより照明の電力消費量削減を図っている。

ほかにも環境に配慮した設備が充実しており、アステラス製薬ではエネルギー使用状況などを把握し、さらなる省エネルギー化を図るとしている。

日本橋アステラス三井ビルディング

所在地: 東京都中央区日本橋本町2-5-1
建築設計: 株式会社山下設計
建築施工: 株式会社鹿島建設
蓄熱設備設計: 株式会社山下設計
蓄熱設備施工: 株式会社鹿島建設
延床面積: 27,446㎡
竣工年: 2013年(新設)

●蓄熱設備概要

エコ・アイス(セントラル) 熱源機: 空気熱源ヒートポンプチラー 131kW(製氷時) × 2台(東芝キャリア)
蓄熱槽: 37.04㎡(スタディック)

日本橋アステラス三井ビルディングは、三井不動産株式会社が官民地元と一体となって開発をすすめる「日本橋再生計画」の重要な構成部分を成す建物で、江戸橋桜通りと昭和通りの結節点に位置している。建設地周辺は江戸時代より薬種問屋が軒を連ね、現在でも数多くの製薬メーカーが集積する地域で、アステラス製薬株式会社はこの建物を本社ビルとして使用する。

同ビルの最大の特徴は、「先進的環境ビル」ということである。標準的なオフィスビルと比較してCO₂排出量は40%の削減を見込み、賃貸オフィスビルでは認証実績のない「LEED-CS^(※)」の「ゴールド認証」を取得した。三井不動産とアステラス製薬が一体となって取り組ん

だ成果である。

蓄熱式の高効率空調システムを導入、電力負荷の平準化も期待

先進的環境ビルの具体的な内容は、「クールビズ対応空調機」の採用（三井不動産初）で、設定温度28℃でも湿度コントロールによって体感温度を低下させることができることだ。省エネ性の高い室内環境を実現している。

さらに、空調熱源機にはエコ・アイスと高効率ヒートポンプチラーを組み合わせた高効率空調システムを導入しており、夏季の冷房重負荷時の偏った電力需要を平準化する効果も期待できる。

※LEED (The Leadership in Energy and Environmental Design) は、米国グリーンビル協会が主催する世界で最も普及している建築物環境指標のひとつ。CS(Core and Shell) はそのテナントビル版である。